

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症ケアに対する事業所独自の理念はあるが、地域密着型サービスを意識したものではない。今後、地域生活を支えるための理念に見直していきたい。	○	地域密着型サービスの意義を全員で確認し、これまでの理念を見直していきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には必ず理念を伝え、理解してもらうようにしている。また、日常的に理念を盛り込んだ会話を心がけている。	○	今後も継続していく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時には必ず説明し、来訪時や家族会等でも話題にしている。	○	今後も継続していく。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買物に出掛けた際は、ご近所の方々と挨拶を交わしたり、話をしている。そういったことを通してご近所の方が野菜や花、果物をおすそ分けしてくださったり、ボランティアに来てくださっている。	○	今後も継続していく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には加入しており、文化祭、祭り、防災訓練、人形劇等の行事にも積極的に参加している。文化祭では作品展示に部に参加させていただいている。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>散歩のときに出会う地域のお年寄りとは挨拶だけでなく出来るだけ会話するようにしており相談を受けることもある。</p>	○	<p>地域の中で何か出来ることは無いか、運営推進会議を通じ、今後も話し合っていく。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回までの評価結果を前向きに捉え、職員全員に伝え改善してきている。</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>報告や情報交換だけでなく、実際に家族会を兼ねた行事にも参加していただき、支援に対する意見をいただいている。また、地域からの支援が必要な事柄に関しては、意見をもらいながら取り組んでいる。</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>何かあれば市の担当者に連絡し、指導を仰ぎ、サービスの向上に取り組んでいる。</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>今までも「成年後見制度」について、必要と思われるご家族には情報を提供しており、現在も利用している方がいる。そのため研修にも数回参加し、内部研修もしている。</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>権利擁護・虐待防止等の研修に参加し、その後勉強会を開き共通理解し、遵守に向けた取り組みを行っている。</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時の契約の際は料金、ケアに関する考え方、起こりうるリスク、退去時の支援可能な範囲の説明等、十分に時間をかけ説明し、同意を得ている。</p>	○	今後も継続していく。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>安心相談員に毎月訪問していただき入居者の相談にのっていただき、その後管理者が相談員から意見をいただいている。また日頃からコミュニケーションを多く取り、話しやすい関係をつくり、不安や不満が聞かれたときは話し合いを行いケアに生かしている。</p>	○	今後も継続していく。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月グループホーム便りと御様子連絡票をお送りしホームでの様子を詳細にお知らせしている。</p>	○	今後も継続していく。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族には来訪時、家族会、電話の際何でも言っただけよう願っている。また、意見、要望はホームをより良くするためのものである事を伝え、言いやすい雰囲気を作っている。</p>	○	今後も継続していく。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体ミーティングの他、日頃から意見を聞く機会を持ち、言いやすい雰囲気を作るようにしている。また、意見を反映するようにしている。</p>	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の暮らしを出来る限り支えられるよう、状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる。また、その都度必要に応じて、柔軟に職員の配置を考えている。	○	今後も継続していく。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者にとって継続的に馴染みの職員が支えることを重視しているため、異動は最小限にとどめている。また、離職により新しい職員が入る場合も、入居者にきちんと紹介し早く馴染みの関係がつかれるよう職員全員で支えている。	○	今後も継続していく。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体での研修の他ホームでの内部研修、事業所外での研修にもなるべく多くの職員が参加するようにしている。また、研修報告書を作成し勉強会を開催している。	○	今後も継続していく。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域内外の、管理者・同業者と広く交流しており、他施設で開催する研修にも職員と共に参加させていただいている。それを通じサービスの質の向上に努めている。	○	今後も継続していく。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的に職員のストレスや悩みを把握するよう努めている。また、法人全体の交流会やホーム職員の親睦会を開き気分転換が図れるようにしている。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者が事業所の管理運営を任されている。管理者は日常的に入居者と過ごしており、職員の悩み等も出来るだけ把握するよう努めている。また、個人の年間目標を設定し、資格取得に向けた支援をすると共に職員が向上心を持って働けるよう職能評価を行っている。	○	今後も継続していく。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居申し込みの際はご本人にお会いし、心身の状態を把握し、入居前には生活歴・生活状態を細かく把握し、本人の不安や苦しみを受け止めるよう努力している。	○	今後も継続していく。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の苦労や、これまでの経緯を時間をかけてお聞きし、今後に対する不安を受け止め信頼関係をつくるよう努力している。	○	今後も継続していく。
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際は、本人や家族の思いや状況を確認し、必要なサービスにつなげる等状況の改善に向けた対応をしている。	○	今後も継続していく。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にホームに遊びに来ていただき、一緒にお茶を飲みながら、他の入居者・職員と過ごしていただき、入居後もできるだけ家族に来ていただくなど支援をお願いしている。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、される側という意識ではなく、一つの家族という意識の下、お互いが協働しながら穏やかに暮らせるようにしている。特に季節の行事や一般常識は、年長者である入居者の方々から教えてもらう場面が多くある。	○	今後も継続していく。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日頃の様子や職員の思いを文章にて毎月きめ細かく伝えている。また、電話や面会時に情報交換をし、本人を支える為の協力関係を築くよう努めている。	○	今後も継続していく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ホーム全体の様子及び本人の日頃の様子をこまめに報告し関係が途切れないよう留意し、家族会も行事・食事会を兼ねた形式にして、多くの家族に参加していただいている。また、本人の状況を見極めながら外出・外泊をお願いし、できるだけ面会に来ていただくようお願いしている。	○	今後も継続していく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力の下、行きつけの美容院にお連れしていただいたり、墓参りに連れて行っていただいている。また、以前からの友人・知人がホームに訪ねてきてくださる。	○	今後も継続していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係性について全ての職員が情報を共有し、心身の状態や変化に注意し、孤立してしまう方がいない様、また入居者同士の関係が円滑になるよう対応している。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設に移られた方の所へは様子を見に伺ったり、ご家族に電話したりしている。	○	今後も継続していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一部であるが、センター方式のアセスメントシートを活用し、どのように暮らし、何をしたいか等理解するよう努めている。	○	今後も継続していく。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人及び家族に、生活歴、家族状況と一日の過ごし方等出来るだけ細かく聞き取るようにしている。また、入居後も会話の中から気付いたことは記録し職員全体で把握するようにしている。	○	今後も継続していく。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの体調や精神状態の変化に注意し、できない事ではなく、できる事に注目しその人全体を把握するように努めている。	○	今後も継続していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の気持ちに添い、毎月の会議の時に一人ひとりの様子を意見交換している。また、ご家族の意向についても文書や口頭にて確認し計画に反映している。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	通常は期間に応じて見直しを行っているが、状態が変化しているときは本人や家族、職員と話し合い見直している。	○	今後も継続していく。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや変化は個々のケア記録に記載し職員は勤務前に必ず目を通すようにしている。また、変化に応じて介護計画を見直している。	○	今後も継続していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者や家族の状況、要望に対し出来るだけ柔軟に対応出来るよう努めている。	○	今後も継続していく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地元の元区長、民生委員に運営推進会議のメンバーに加わっていただき意見交換する機会を設けている。また、ボランティアの協力を得ながら、公民館での地域の行事にも参加している。	○	今後も継続していく。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者の希望や状況に応じてボランティアの受け入れや、訪問理美容サービスを利用している。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加しており、情報や意見をいただいている。今後も協力関係を構築するよう努めていく。	○	今後も継続していく。
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医になっている。受診や通院については、基本的には家族対応であるが、家族の状況や希望に応じて職員が付き添う等柔軟に対応している。	○	今後も継続していく。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	通常は内科医にて指示や助言を受けているが、困難な事例は専門の精神科医に家族・管理者も同行し相談、受診している。	○	今後も継続していく。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医が直ぐに対応してくれるので、些細なことでも医師の診断を受けている。	○	今後も継続していく。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には本人に関する情報を医療機関に提供し、医師・家族とも情報交換を密にしている。	○	今後も継続していく。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	協力医・家族の協力の下出来る範囲で対応している。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>医師・職員と協議し、ハード面でも必要なところは改修し、全員が納得したうえで終末期に取り組んでいきたい。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日そのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおよそその一日の流れはあるが、無理強いすることなく、その人のペースで過ごしていただいている。	○	今後も継続していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	以前からの生活習慣に合わせ、日頃から化粧やおしゃれを楽しんでいただいている。カットやカラーも希望に合わせている。	○	今後も継続していく。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	健康管理を考え管理栄養士の作るメニューを参考にし、同じ食材を使い入居者と共に別の料理を作ることもある。調理から片付けまで出来るところはやっていただき、一緒にいただいている。	○	今後も継続していく。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	以前から飲酒していた方は好みの酒を一緒に買いに行き、引き続き飲酒している。おやつについても季節の物を取り入れ、作れるものは一緒に作っている。	○	今後も継続していく。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	自宅でオムツを使用していた方や、尿意のない方もトイレ誘導によりトイレでの排泄を促し、出来るだけ下着に尿取りパットのみにするようにしている。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入りたい人は毎日入り、仲のよい人同士は一緒に入っている。また、年に数回温泉に行き、職員と一緒に入っている。	○	今後も継続していく。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や表情に注意しつつ、日中はなるべく活動し、生活のリズムを整えるようにしている。また、夜間不安で眠れないときは、添い寝したり、そっと寄り添ったりしている。必要があれば、家族と相談し医師の診断を受けている。	○	今後も継続していく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜や花の手入れは職員がお願いしなくともやってくださっている。出来る事で本人が嫌でないことはお願いし、その都度感謝の言葉を伝えている。	○	今後も継続していく。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力を得て小額のお金を持っている方もいるが、外出や買物の際に自分で支払っていただけるよう財布に小額のお金を入れ手渡すこともある。	○	今後も継続していく。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節を肌で感じていただけるよう、ほぼ毎日散歩に出掛けている。また、買物にも同行していただき、ついでにお茶を飲んでくることもある。	○	今後も継続していく。

グループホームフランスーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	どこに行きたいか一緒に話し合い、計画を立て、月に一回温泉や観光地等に出掛けている。また、希望があれば個別に外出をしている。	○	今後も継続していく。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年、年賀状は入居者と職員が一緒に書いている。また、希望に応じて日常的に電話や手紙を出せるように支援している。	○	今後も継続していく。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	親の家を訪れるような気持ちで来てほしい旨伝えてあり、訪問時間も決めてないので、仕事帰りに立ち寄ってくださる方もいる。	○	今後も継続していく。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高齢者の権利擁護、身体拘束に関する研修に参加し、その後勉強会を実施している。	○	今後も継続していく。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一人ひとりの行動パターンやその日の状態をきめ細かくチェックし、申し送り、職員の見守りの方法を徹底し、日中は玄関等全て鍵はかけずに自由な暮らしを支援している。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はほとんどの方がリビングで過ごしているので、記録も見守りをしながらリビングで行っている。夜間も定時以外にも巡視し、起きたときに直ぐに対応できるよう居場所を工夫している。	○	今後も継続していく。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の状況に応じて保管管理が必要なものの、使用時に注意が必要な物を把握している。	○	今後も継続していく。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の状態から予測される危険について、全体会議を通じ職員全員が把握するようにしている。また、早急に改善すること等は申し送りノートを通じ共有認識を図っている。	○	今後も継続していく。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署主催の応急手当の講座に参加すると共に、全ての職員が年に1回の応急手当の勉強会をしている。	○	今後も継続していく。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を定期的に行うと共に、地域の協力体制については、運営推進会議を通じ協力を呼びかけている。	○	今後も継続していく。
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	様々な役割活動や外出行事等により、リスクは高くなるものの、それにより力を発揮できたり笑顔が多くなり、行動障害が軽減している様子を見ていただき、具体的に説明している。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックは毎朝行っている。職員は普段の状況を把握しており、体調や表情の変化を見逃さないようにしている。変化が見られたときは再度バイタルチェックを行い直ぐに管理者に報告し、状況により受診している。	○	今後も継続していく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個々のファイルに保管すると共に、内服薬一覧表により受診時変化について確認したり、職員が服薬内容を把握出来るようにしている。服薬時は本人に手渡し飲み込むところまで確認している。	○	今後も継続していく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食材や乳製品を毎日摂るようにしている。また、体操や散歩・家事等身体を動かす機会を設け、できるだけ自然排便できるように取り組んでいる。	○	今後も継続していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯みがきを、個々の状況に応じ見守り又は介助により行っている。また、就寝前は義歯洗浄行っている。	○	今後も継続していく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	基本的に管理栄養士の作る献立で調理している。水分、食事共に全量摂取していただくよう声掛けしているが、摂取量が少ないときは記録に残し、情報を共有している。	○	今後も継続していく。

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	医療従事者による感染症についての勉強会を実施すると共に、早期発見、早期対応、予防接種の実施等予防・対策に努めている。	○	今後も継続していく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板や布巾は毎日漂白し、清潔を心がけている。買物も使う分だけ毎日買うことにしており、使いきっている。食材の残りは都度処分している。	○	今後も継続していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るい雰囲気になるよう玄関周りに花を植え、春先から花が咲くようにしている。	○	今後も継続していく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所を取り囲むように居室があるので、朝は煮物やご飯の炊ける匂いや、食器の音で起きてこられ手伝って下さる方もいる。リビングの壁は幼稚な飾りつけはせず行事の写真等を飾っている。	○	今後も継続していく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールの作り付けの椅子やリビングの隅にあるソファで、一人で過ごしたり、仲の良い人同士で過ごせる場所をつくっている。	○	今後も継続していく。

グループホームフランスーズ悠(はくちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	箆笥、椅子、写真、仏壇等使い慣れた家具や、調度品を持ち込み、居心地の良さに配慮している。	○	今後も継続していく。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	通常窓は開けて常時換気している。冷暖房使用期間は一定の時間帯で換気している。また、冷暖房は、寒すぎたり暑すぎたりしない様温度設定している。	○	今後も継続していく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	シンクや調理台は入居者の使いやすい高さに設定している。また、入居者の状態に合わせ、手すりの増設も行っている。	○	今後も継続していく。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	できること・できないこと、わかること・わからないこと等をアセスメントし、できないこと・わからないことも、工夫によってできる事があれば情報交換し、支援につなげている。	○	今後も継続していく。
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭の草取りや野菜の手入れは入居者の方が進んでやってくださっている。また、気候のよい時期にはテラスで食事をいただくこともある。	○	今後も継続していく。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に○をつけること)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームフランセーズ悠(はくちょうユニット)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に○をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

高齢化が進んでいる現在、誰もが認知症になる可能性はある。自分自身または自分の家族が認知症になったとき、そっと支えてくれる人がいて、此処でなら安心して暮らせると思えるホームになるように。また、少しでも多くの笑顔が見られるよう努力している。